

◆日本 A 級ディンギー協会 活動報告

1、令和 3 年度活動

①全日本大会と理事会

- ・コロナ禍により中止。西宮大会は2年連続の中止となる。
- ・メールによる理事会の開催。決算案、予算案の承認とJADA活動について意見を聴取。特に意見なくすべて了承される。

②東日本大会

- ・葉山レガッタとして開催。来年からも同じとし、全国大会として各水域に参加を呼び掛ける。

③葉山レガッタ(写真①)

- ・10月、コロナの鎮静化により開催。合同チーム含む16チーム・20艇の参加。強風により沈艇続出。排水ポンプの稼働により一定の救助効果はあったが、完沈も多く課題も残った。

大先輩からご寄贈いただいた優勝杯(銀皿)は関西法友クラブが獲得した。

④同じく A 級発展を支援するためのご寄付と全日本の優勝カップをご寄贈いただいた。

(写真②)

寄付金について特命担当理事会で運用に関する規程などの検討を行った。

⑤石橋名誉顧問の永年の功労に対して「JSAF 功労賞」に推薦。その功績が評価され受章の栄誉を得られた。

2、特命担当理事会

- ・コロナ禍で、対面の会議は1回。別途葉山レガッタ運営に関する打合せを2回行った。
- ・寄付金は基金として特別会計で運用することとし、その規程について検討した。
- ・基金を活用して、レースの安全を促進するためにエアーバックや黒球の装備に関する支援を行うことやレースの機材を整備することとした。(写真③)
- ・立教ディンギークラブから寄贈された艇について、その受け入れや管理について検討した。
- ・協会加盟の印としてステッカーを作成し各チーム艇のスターンに貼ることとした。

(写真②)

3、今後のA級レースの方向

①艇のチャーター、乗り回し

- ・手軽に参加できる仕組み。
葉山レガッタで行った合同チーム方式。乗り回し方式(旧全日本学生選手権方式)。
チャーター艇斡旋方式(協会所有艇の活用)。
- ・活動休止状況のクラブの艇を散逸防止。
水域連合でチャーター艇を支える仕組み。
- ・艇の確保に関する財源の確保。
更なる寄付やスポンサーの募集、確保。

4、A級仲間の増加(次世代プロジェクト)

- ・ターゲットの絞り込み。学連OBでA級を知らない50~60歳代。
- ・A級の魅力を伝える。全日本選手権が行われていることをアピール。
- ・仲間との交流の楽しさを絶やさない。

(写真①) 葉山レガッタ



(写真②) ご寄付

葉山レガッタ優勝杯



ステッカー



Japan Champ. 木造艇優勝杯



Japan Champ.RFP 艇優勝杯



(写真③) レースの安全

排水ポンプ



エアバック

